12-30-73

じんの横文字がたくさん書かれたカードありがとう。
単語のひろいよみをして大体の見当をつけ教えて金文を読して
もらいました。
もうすぐ何か習い降ったとゆう　エカゴのアルバムとの
部屋の中のじんと文子を思って居ります。　もう四十五日以上雨
も降らない東京の乾いた空気の中から。

十月二十七日、

(津宮)
昨日は長いお手紙ありがとうございました。二人が一つの屋根の下に住き始めて
からのはじめての詳しいお手紙出れ私は感激でした。
私は結婚とゆうものは運命会でよくやる二人三脚のようなもので
二人肩を組んで楽しく　そして脚は三脚とゆう　大変なれない自由な
ものと思って居ります。　あなた方は　あのかもり長くがかった
別々の生活を持って　つきあって　居た頃の二人四脚といったような
生活の仕方と少しも気兼ねが変ってみないことは本当におどろく程
です。　けれど幸福な二人でいることの　不安も　みりたせなかったこと
長い報告のとこれも　ケンつぼはどの　不安も　みりたせなかったこと
を本当に嬉しく思って居ります。
来年七月　あなた方が南米　日本の私を訪れてくれることは　嬉しい
限りです。　そんなことはどうでもよろしい　今日の手紙のような
きもちが　二人の間にいつまでも続いてくれることだけを願います。
とろかい　じんも　そこのところをよく考えて下さい。二人が　じん
が　来れ　言っていったこカゴの空の下で　仲よく　仕事に専念して
健康に生きてくれさえすればいいのです。
今度の手紙でじんの将来えの展望も分かりさせてもらえる様な心しました。

それにしても ビムの自動車の話は 私には心配の種です
とっくに早く買い替えてもらいたいものです。金沢の中のつまづく要
駄を省いて とっくに早く買い替えるべきです。あなたがすぐ気付
心はつけません。
ボーッと暮しむのは アメリカの国民性だと言われてゐるけれどビムの
たのしそうな顔を思い浮かべて居ります。
黒人の問題は アメリカの一つの宿命みたいなものです、とやかく、オミは
ぬるみがちをするより、あなたもアメリカの中にとけこむためには その宿命
を受け止めるより他にないと思います。
"女の友達を完璧は持たなければ"とゆうビムのやさしい人間性にお世
さんは おんれます。東洋でも西洋でも男が男に熱中するとゆうことは
あってもも 女が女にほれこむとゆうことは滅りにこともみたことも ありま
ません。それほど女は性未峡量なのです。やさしくないのです。ところで
ビムのその言葉の感に秘められたやさしさを大事にしてください。
沼野な法律とゆうものは人間をさばくとゆう仕事に従事してゐるビム
が心の中にそのような奥深いやさしさを秘めてゐることを私はとんな
に嬉しく有難く思うことでしょう。

哲はアフリカ、ハニンゲンニュと約一ヶ月ぶりに帰って来ました。思ったほどの
緊張もしなかった様子で同じ開発途上国でも ケニア、タンガニアは ちな
ぶ楽しそうだけれど ハニンゲンニュは本当に貧しいで みていられなかった由。
それからビッグニュースを一つ。
十月末の初旬、哲は一つの見合をしました。
トントンと調子よく進行しなければ。

それが、縁とゆうものの不可思議、で
彼がアフリカへ出発する時は私でさえ

羽田えゆかないのに花嫁候補の父君はその娘と兄息子まで連れて来てくれ、帰りは こちらを立てるとゆう積極ぶりでありました。
中村の役をとったのが例の岡本監督夫人と夫人の友人である長唄の先生（これは一よ夫人の芸者あがりと想像しますが、さにあらず 以前大の邦楽料をあたかもの インテリ夫人）候補の娘とゆうのは昭和二十二年生れの娘で日本舞踊 藤間流の名取で 現在は 先生の代稽古 をしてみるとゆうなかなかのしっかり者。
彼はあまり年ごろが開き過ぎてみるので病気にならうかと云のだけれど縁は出会いもの、娘と両親が最初から乗気で、あっとゆう間に こちらは流されてしまったようは感じがないでもないけれど、彼も別に嫌でもないようすなので此方はちょくちょくデートをするもうとして居ります。
候補娘の父は あるなのお女さんと同じ位の年令あたりで育った人で医者の息子で独身を貫いながら医大を選ぶ早稲田の文科を出てNHKに入り 定年退職して 現在は国立劇場の非常勤講師かなにかをしてみるらしい。お嬢さんは人物らしく彼を大変に気に入り、早く結婚の事を、とかなりとかうるさいばかりです。
媒酌が早すぎる縁談とゆうものも考えさせられます。 如何でしょうこの件をいろいろ考えてみるとこちらあたりが決めどころではないかと思われるのです。
実は日本社会は 男の独立独立とゆう観念に弱く 大企業とか 大会社とか役所とかに属して働いてる事が安全だと思い込んでいるので彼のような仕事は大分の人から危険視されてみることがよくわかってきました。
娘たちも又その考えは同じで彼はなかなか強しいとに理解ある娘には出会えなかったのです、四ヶ月位交際した娘も"自立"を停年退職した父親の無理解で駄目にさせられたのでした。そんなわけで 青函

サラリーマン家庭に育った三十大学出の娘達とゆうものは なんとも始末に
おえないものであることはわかった二とです。
そんな点から考えると この若い娘は 新しいものにも流されず、
なまじっかな大学に入るより、三つのばからはじめた日本舞踊をつづ
けたら方がいいとゆう頑固さを持ってみる事、ゆかすきりしてみる二とは
事の実です。結婚してもりおとりゃ わけは続けさせてくれとす事、こんな
調子では単なる お嫁さん業ではないと思い、 あまりしっかりしねえは
ない方の折れはいいのではないかと思うようになりますが、
結婚とゆうものは やはり あなたもそうであったように 本人の家族達
にも紹介される必要で その点も 今回の場合 折れも幸運だと思い
ます。娘のお母さんなる人も 青山あたりで 旧軍人の家庭に育った人らしく、
娘の見習二人は 日大芸術学部の部を出て 折れと似たような 自由職
であるのも幸いだと思います。

こんなわけで七十四年の新しい年は きっと お母さんのよう忙しい年となると
思います。ゆるも最近は こんなことを敏感に感じとって 裏側に廻っては
よく協力してくれるので助かります。流行作家とは程遠く 裏に廻々
なる文筆生活ですが おのれ自身は 楽しいのですから ゆきかえわんや
です。人とおつきあいしないことは依然として 同じことで他所をゆきもしなければ
ゆる方訪問者もありません。 月に四回、雑誌社編集部から 原稿が
来るだけのまるで隠遁生活者であることは参議院を退職以来 ついて居
ます。
どうぞ 肉親達 達んすることをめどろがらずに。 あなたの肉親達が あなたに
そばなど求めはしませんからとうぞ そっとうえつてて下さい。

十二月三十日　日吹は